

## 2021 年度版 CPE カリキュラム一覧表

## 6. 組織環境

## 【学習成果】

- ・法律、経済情勢、情報技術等の組織内外の環境を的確に把握し、業務を行う。

※講義内容が複数の分野または研修コードに関連する場合は、最も重点を置く内容の研修コードを選定するものとする。

大分類	小分類 ("研修コード")	研修項目の例示(仮)
61 ガバナンス	01 ガバナンス ("6101")	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コーポレートガバナンス・コード</li> <li>○ 組織のガバナンス</li> <li>○ 内部統制の構成要素</li> <li>○ 企業倫理               <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 企業倫理の定義、目的</li> <li>2. 企業倫理の重要性</li> <li>3. コーポレート・ガバナンス</li> <li>4. 企業倫理と経営者の責任</li> <li>5. 経営倫理基準</li> </ul> </li> <li>○ 企業のCSR(社会的責任)               <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 企業価値向上に関する KPI を中心とした CSR 非財務情報項目に関する提言</li> <li>2. その他</li> </ul> </li> <li>○ SDGsと ESG 投資               <ul style="list-style-type: none"> <li>1. Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)と Environment(環境)、Social(社会)、Governance(ガバナンス)投資</li> <li>2. TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures))提言</li> <li>3. SASB(サステナビリティ会計基準審議会(Sustainability Accounting Standards Board))スタンダード</li> </ul> </li> </ul>
	02 リスクマネジメント ("6102")	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ リスク分析</li> <li>○ リスクマネジメントの意義及び実践</li> <li>○ BCP(Business continuity planning)</li> <li>○ BCM(Business continuity management)</li> <li>○ 危機対応の実践とモニタリング</li> </ul>
	99 その他 ("6199")	
62 事業上の法律及び規則	01 事業 ("6201")	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業の性質、市場</li> <li>○ 産業の状況</li> </ul>
	02 規制等 ("6202")	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 規制環境</li> </ul>

大分類	小分類 (“研修コード”)	研修項目の例示(仮)
		○ 政策、制度
	03 法律及び規則 (“6203”)	○ 法律及び規則 1. 企業法務 (1) 会社法(計算規定を除く) (2) 民法 (3) その他 2. 独占禁止法
	99 その他 (“6299”)	
63 情報通信技術	01 情報処理 (“6301”)	<p>○ コンピュータシステム1ー基本ソフトウェア</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オペレーションシステム</li> <li>2. ネットワーク OS</li> <li>3. エンベデッド OS</li> <li>4. ミドルウェア</li> </ol> <p>○ コンピュータシステム2ーシステムの構成と方式</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの構成技術</li> <li>2. システムの性能</li> <li>3. システムの信頼性・経済性</li> </ol> <p>○ システム開発と運用1ーシステムの開発</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 言語</li> <li>2. ソフトウェアパッケージ</li> <li>3. 開発環境</li> <li>4. 開発手法</li> <li>5. 要求分析・設計手法</li> <li>6. プログラミングの手法</li> <li>7. テスト・レビューの方法</li> <li>8. 開発管理</li> <li>9. アプリケーションシステムの構築</li> <li>10. システムの監査可能性</li> <li>11. 外部環境の活用</li> </ol> <p>○ システム開発と運用2ーシステムの運用と保守</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムの運用</li> <li>2. システムの保守</li> </ol> <p>○ ネットワーク技術1ーネットワーク</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. LANとWAN</li> <li>2. インターネット</li> <li>3. ネットワークの性能</li> <li>4. ネットワーク関連法規</li> <li>5. ネットワークセキュリティ</li> <li>6. 電気通信サービス</li> </ol> <p>○ ネットワーク技術2ー通信機器</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 伝送媒体・通信ケーブル</li> <li>2. 各種通信装置</li> </ol> <p>○ ネットワーク技術3ーネットワークソフト</p>

大分類	小分類 (“研修コード”)	研修項目の例示(仮)
		1. ネットワーク管理 2. ネットワーク OS  ○ データベース技術1ーデータベースのモデル 1. データベースのモデル 2. データの分析 3. データ操作  ○ データベース技術2ーデータベース言語 1. データベース言語 2. SQL 3. API  ○ データベース技術3ーデータベースの制御 1. DBMSの機能と特長 2. DBの制御機能 3. 分散データベース
	02 情報システム (“6302”)	○ 情報戦略一般 1. 経営活動と情報戦略 2. ITガバナンス 3. 経営支援システム 4. 経営戦略・経営知識と情報戦略 5. BPR 6. アウトソーシング  ○ 情報システムの組織体制 1. CIO 2. 情報システム運営委員会 3. CISO 4. 情報システムの企画、開発、運用、保守組織 5. アウトソーシングと情報システム部門 6. 情報システムのオーナーとユーザー  ○ 業務プロセス 1. 業務プロセスの定義 2. 販売業務プロセス 3. 物流業務プロセス 4. 購買業務プロセス 5. 生産業務プロセス 6. 会計業務プロセス 7. 人事業務プロセス 8. その他の業務プロセス  ○ アプリケーションシステム 1. アプリケーションシステムの意義、機能 2. 販売情報システム 3. 購買情報システム 4. 物流情報システム 5. 生産情報システム 6. 会計情報システム 7. 人事情報システム

大分類	小分類 (“研修コード”)	研修項目の例示(仮)
		8. その他のアプリケーションシステム  ○ 情報システムの評価 1. 情報システムの評価の意義 2. 評価指標及び技法 3. バランス・スコアカード 4. ABC/ABM 5. ベンチマーキング、ベストプラクティス 6. 企画業務における評価 7. 開発業務における評価 8. 運用業務における評価 9. 保守業務における評価
	03 リスク分 析と情報セ キュリティ (“6303”)	○ リスク分析 1. リスクマネジメント 2. リスク分析の概念 3. リスク処理ツール 4. リスク分析手法  ○ 情報セキュリティ 1. セキュリティポリシー 2. セキュリティに関するスタンダードとガイドライン 3. 情報セキュリティの定義 4. 情報セキュリティの分類 5. 情報セキュリティの機能 6. 情報セキュリティ対策  ○ コンピュータ犯罪 1. コンピュータ犯罪の定義 2. コンピュータ犯罪の分類 3. コンピュータ犯罪対策
	04 電子開示 (“6304”)	○ 電子開示の動向・概要  ○ XBRL
	05 個別論点 (“6305”)	○ アウトソーシング  ○ ERPパッケージ  ○ 電子商取引  ○ 電子帳簿  ○ 電子署名及び認証  ○ 情報セキュリティ監査  ○ ISMS 適合性評価制度  ○ プライバシーフレームワーク  ○ クラウド

大分類	小分類 (“研修コード”)	研修項目の例示(仮)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ビッグデータ</li> <li>○ 仮想化技術</li> <li>○ 人工知能(AI)</li> <li>○ フィンテック</li> <li>○ IoT(Internet of Things)、IoE(Internet of Everything)</li> <li>○ RPA(Robotics Process Automation)</li> <li>○ ブロックチェーン技術</li> <li>○ プロセスマイニング</li> </ul>
	06 情報管理 (“6306”)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報戦略と情報システムの体系 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 経営戦略に立脚した情報戦略の構築手法</li> <li>2. 情報システムの体系</li> <li>3. 業務基幹システムの体系</li> <li>4. 意思決定・意思疎通システム</li> <li>5. マルティメディア</li> </ul> </li> <li>○ 情報システムの開発と導入 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 情報システムの戦略的効果測定手法</li> <li>2. 情報戦略に立脚した情報システム構築手法、オープン環境における情報システム形態</li> <li>3. 情報システムの戦略的効果測定手法</li> </ul> </li> <li>○ ハード・ソフトの選定 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. ハードウェアの分類と構成、システムの維持保守の必要性と手法</li> <li>2. ソフトウェアの分類と構成、システムの維持保守の必要性と手法</li> </ul> </li> <li>○ 要員教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. システム管理者・運用担当者・情報活用者としての要員教育</li> <li>2. データベース</li> </ul> </li> <li>○ 個人情報保護法</li> </ul>
	99 その他 (“6399”)	
64 経済	01 経済情勢 (“6401”)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経済情勢 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 世界経済情勢</li> <li>2. 地域経済の動向</li> <li>3. 雇用情勢</li> </ul> </li> </ul>
	02 金融市場 (“6402”)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 金融市場 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 金融市場の役割</li> <li>2. 金融市場分析</li> </ul> </li> </ul>

大分類	小分類 (“研修コード”)	研修項目の例示(仮)
	03 グローバリゼーション (“6403”)	○ グローバリゼーション グローバル化への対応
	99 その他 (“6499”)※1	
69 その他	99 その他 (“6999”)	

※1 経済理論など基礎的なものは含まないことに留意する。